

令和4年度

〔自 令和4年4月 1日〕
〔至 令和5年3月31日〕

事業報告書



あなたと共に“地域”と“未来”をつくる。

公益財団法人鹿児島県地域振興公社

目 次

事業報告

I 事業の概要	1
II 事業実績	
1 公益目的事業1	1
(1) 農地中間管理事業	1
(2) 農地売買等事業	1
(3) 畜産公共事業	2
2 公益目的事業2	3
(1) フラワーパークかごしま管理運営事業	3
(2) 公園等管理運営事業	7
3 収益事業	10
(1) 緑地等管理受託事業	10
(2) フラワーパーク売店運営事業	10
(3) 駐車場等運営事業	11
4 法人運営	12
5 令和4年度の主要行事	14

事業報告の附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

財務諸表

1 貸借対照表	20
2 貸借対照表内訳表	22
3 正味財産増減計算書	24
4 正味財産増減計算書内訳表	27
5 財務諸表に対する注記	33
6 附属明細書	36
7 財産目録	37

I 事業の概要

本県農業・農村の発展と豊かで安らぎのある県民生活の確保を図り、もって地域の振興に寄与するため、公益目的事業として農地中間管理事業、農地売買等事業、畜産公共事業、フラワーパークかごしま管理運営事業及び公園等管理運営事業を実施するとともに、収益事業として緑地等管理受託事業、フラワーパーク売店運営事業及び駐車場等運営事業を実施した。

II 事業実績

1 公益目的事業 1

(1) 農地中間管理事業

規模縮小や離農する農家等から農用地を借り入れて、毎月公募を行い、意欲のある担い手に当該農用地を貸し付けた。

令和4年度転貸実績は2,091.9haとなり、目標である3,200haの達成に至っていないが、3年連続で2,000haを超えた。

(単位：ha)

項 目	令和4年度実績	前年度実績
当年度転貸面積（耕作者変更を含む）	2,091.9	2,053.1
うち当年度借受面積	1,879.2	1,865.5

① 農業者等への啓発

担い手（事業活用者等）を36件訪問し、農地地用の事例等情報収集活動を実施した。

② マスコミや各種広報誌等の活用

全国農業新聞やKAIZEN-NET 鹿児島に事業PR記事を掲載したほか、農地バンクだよりを作成し、各機関への郵送やHP掲載を行った。

③ 農地バンク事業活用優良事例集の作成・配布

市町村、農業委員会、関係機関・団体との連携による特徴的な取り組み事例集を作成し、156か所、1,844部の配布を行った。

(2) 農地売買等事業

規模縮小や離農する農家等から農用地を買い入れ、意欲のある担い手に当該農用地を売り渡した。

令和4年度買入実績は7.5haとなり、目標である12haの達成に至っていないが、離島を中心に農業委員会と意見交換会を行う等の事業推進を図った。

(単位：ha)

区 分	令和4年度実績		前年度実績	
	件 数	面 積	件 数	面 積
買 入	22	7.5	38	10.5

注： 実績報告は、国等の実績報告（公告日基準）に合わせているため、損益上の集計と一致しないことがある。

(例) R4年3月公告、R4年4月売渡の場合、国等への実績報告はR3年度実績、損益上はR4年度実績となる。

① 農業者等への啓発

事業啓発ポスターを作成し、121か所376部の配布を行った。

② 関係機関との連携

事業チラシの刷新を行い、121か所29,850部の配布を行うとともに、10市町村の農業委員会と意見交換会を開催した。

(3) 畜産公共事業

安定的に畜産の発展が見込まれる地域において、地域の核となる畜産経営体の育成や畜産物の安定的な生産を図るため、飼料基盤や家畜飼養管理施設を整備するとともに、地域資源リサイクルシステムの構築により、畜産による環境汚染の防止と地域住民の生活環境保全に資するため、総合的な畜産環境整備を行う事業を実施した。

なお、9地区において一部を令和5年度へ繰り越す必要が生じた。

主な繰越理由は、令和4年7月豪雨及び9月上旬の台風14号による暴風・大雨に係る災害復旧工事が優先されたため、技術者不足等に伴う入札不調があったこと、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、特に、医療体制が脆弱な離島への移動自粛が求められる中、技術者の移動や資材の搬入に支障をきたしたこと、環境保全に係る地元住民との調整に不測の期間を要したことなどであり、これらによって年度内完成が困難となった。

① 畜産基盤再編総合整備事業

三島第2地区など8地区において、草地・飼料畑造成、畜舎及び家畜排せつ物処理施設等を整備した。

(地区名・実施期間)

県中北 (R1～5)，三島第2 (R1～5)，十島 (R2～6)，曾於第3 (H29～R4)，種子屋久第1 (H28～R3)，種子屋久第2 (R3～7)，奄美北部 (R2～6)，奄美南部 (H29～R5)

事業内容	当初計画	実績
草地整備・造成改良	64.9 ha	19.8 ha
施設用地造成	2.8 ha	1.9 ha
隔障物整備	8,420 m	4,037 m
畜舎・堆肥舎等	24 棟	18 棟
給餌・雑用水施設等	18 カ所	6 カ所
農機具等	8 台	6 台
測量試験費	30 式	23 式

② 資源リサイクル畜産環境整備事業

南薩日置第2地区など3地区において、家畜排せつ物処理施設等を整備した。

(地区名・実施期間)

南薩日置第2 (R3～7)，大隅第7 (H30～R5)，肝属中央第6 (R3～6)

事業内容	当初計画	実績
施設用地造成	0.2 ha	0 ha
用排水施設整備	1,360 m	840 m
堆肥舎等	7 棟	5 棟
縦型コンポスト	3 基	2 基
浄化処理施設	4 式	3 式
農機具等	5 台	4 台
測量試験費	18 式	11 式

2 公益目的事業2

(1) フラワーパークかごしま管理運営事業

鹿児島県との基本協定書に基づき、利用者の安全確保を第一に、将来を見据えた園内の適切な管理や、利用者の多様なニーズに応えるイベントの実施などを行い、県民に花と緑に親しむ憩いの場の提供、花の生産振興、観光振興の三つの機能が発揮できる管理運営に努めた。

① 入園者数等の実績

(単位：人，%)

区 分	令和4年度	令和3年度	対前年度比
入園者数	105,130	108,552	96.8
体験教室等受講者数	424	692	61.3

※入園者目標 130,000人

② 事業実績

県からの要請により、次の事項に取り組んだ。

- ・ キャッシュレス化の推進 … 令和3年度導入、令和4年度本格稼働 イ（ア）参照
- ・ SNSを利用した情報発信… イ（イ）参照
- ・ 希少植物の育成等
 - ・ ショクダイオオコンニャクの開花に向けてプロジェクトチームを中心に育成中
 - ・ 日本植物園協会等他植物園との連携による情報共有及び植物園としての機能充実
カ（オ）参照

ア 広報・広告

(ア) マスメディアの活用

a テレビ：19回，ラジオ：8回

MBC「ニューズナウ」 NHK鹿児島放送局「情報WAVEかごしま」

KYT「news every かごしま」 KKB「Jチャン+」など

MBCラジオ「モーニングスマイル」 NHKラジオ第一放送 お出かけ情報

b 新聞掲載：28回，雑誌掲載：86回

南日本新聞「楽しく花作り」 南のカレンダーなど

鹿児島県庁観光課「鹿児島の旅」 月刊TJかごしま

鹿児島銀行「すこやか倶楽部」など

c SNS：367回

Webサイト：鹿児島県庁HP 鹿児島観光連盟HP

ふくおかサポートネット九州イベント情報

指宿市役所メールマガジン

NPO法人かごしま企業家交流協会

その他：JR東日本 JR西日本 全日空 日本旅行

パナソニックお出かけ旅行ガイドなど

(イ) 旅行代理店・学校・社会福祉施設等への広報活動

a 旅行代理店

- ・ 南国交通株式会社 企画旅行 8回
- ・ 鹿児島県内バス会社 5回

- b 学校・幼稚園・保育園・福祉施設など
 - ・ 鹿児島市, 指宿市内小中学校, 保育園, 幼稚園, 福祉施設 5回

イ 施設利用の利便性向上の取組み

- (ア) 券売機による非接触の安心・安全でスムーズな入園
- (イ) 見頃の花の情報発信
 - a 入園者へのチラシ配布, 園内入口表示, SNS(インスタグラム, ツイッター), Youtube による情報掲載
 - b 園内を散策しながら見頃の花の情報を知ることができる「園内マップアプリ」の紹介 (※iPhone, android 対応)
 - c LINE による情報提供
 - d エントランスにおいてモニターを設置し, 開花情報の提供

ウ 安心・安全な施設管理

- (ア) 事故・災害防止
 - ・ 異常箇所等の早期発見と早急な修繕
- (イ) 専門業者による点検
 - ・ 貯水槽・噴水施設, 合併処理浄化槽, 夜間警備等を専門業者へ委託

(単位: 千円)

業 務 名	契約金額	契約期間	備考
ボイラー保守点検業務他12件	23,504	R3. 4. 1~R8. 3. 31	金額は当年度のみ

エ 適正な園管理

- (ア) 植物管理
 - a 樹木管理は, 樹木等の開花時期等を考慮し, 施肥及び剪定を施工した。
 - b 芝生管理は, 広場空間のアメニティーを維持するため, 芝刈を計画的に施工した。
 - c 花壇管理は, 各エリアのテーマに沿った草花を選定し定植した。

[花壇苗植栽実績]

作業エリア	回数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
ジャングル花の谷	4回	↔			↔		↔			↔			
花と香りの回廊	2回				↔					↔			
屋内庭園	4回	↔			↔		↔			↔			
ホール前・芝生広場	5回	↔			↔		↔	↔		↔			
展望回廊	3回				↔		↔			↔			
ふれあい広場	3回				↔		↔			↔			
ファッションガーデン	1回									↔			
花の並木道	3回	↔			↔					↔			
花広場	4回	↔		↔			↔			↔			
コンテストガーデン	3回			↔				↔		↔			

(イ) 松くい虫防除

次の2件の業務を実施した。

樹幹注入業務は、専門業者と5か年契約を締結し第2回の施工を完了した。

空中散布業務は、専門業者と4か年契約を締結し第1回の施工を完了した。

(単位：千円)

業 務 名	契約金額	契約期間	備考
松くい虫防除空中散布業務委託	1,727	R4. 6. 13～R7. 8. 31	金額は当年度のみ
松くい虫防除樹幹注入業務委託	1,016	R4. 2. 10～R8. 3. 31	金額は当年度のみ

オ 利用増進対策

(ア) イベントの開催

イベント名	実 施 期 間		期間中入園者数
スプリングフェスティバル	R4. 4. 23～R4. 5. 8	16日間	13,838人
青い花祭り	R4. 5. 28～R4. 6. 12	16日間	5,847人
ハロウィーンフェスティバル	R4. 10. 15～R4. 10. 31	17日間	4,300人
イルミネーション	R4. 12. 10～R5. 1. 2	22日間	26,684人
フラワーフェスティバル	R5. 2. 4～R5. 2. 26	23日間	11,062人
合 計		94日間	61,731人

(イ) 園芸教室等の開催

a フラワーアレンジメント等のカルチャー教室を6回実施した。

カルチャー教室

教 室 内 容	受講者数
アートフラワー等6件	118名

b 栽培管理課職員を講師とした園芸教室を6回実施した。

園芸教室

教 室 内 容	受講者数
多肉植物の栽培等6件	135名

c 学校等団体利用者等を対象とした製作体験会等を実施した。

その他教室

教 室 内 容	受講者数
ハーバリウム製作体験等8件	171名

d コンテストガーデンを活用し、花の試作展示を実施した。

6品目、52品種

品目	品種数	品目	品種数
センニチコウ	22	ペチュニア	15
クラスペディア	1	菜の花	4
ダリア	7		
エキナセア	3	計	52

e 植物展示会

花き振興を目的とした植物展示会は、県内生産農家の協力を得て年5回開催した。

- ・ アジサイ展, ブーゲンビレア展, 食虫植物と指宿の観葉植物展, シクラメン展, チューリップ展

カ 地域等との連携

(ア) 県の入園料の無料化に関する業務

- a シニア (70 歳以上) 17,782 人
- b 子ども (小・中・高校生) 4,555 人

(イ) 指宿市, 指宿市観光協会との連携

- a 菜の花マラソン (1/28)
スタート会場内に花で装飾した記念撮影ステージを設置
- b 菜の花マーチ (1/21~1/22, 参加者 3,055 名)
フラワーパークかごしまを会場とし, 園内にコースを設定

(ウ) 学校・教育機関との連携

- ・ 指宿市教育委員会の依頼により園芸講座を実施 (指宿市生涯学習講座)

(エ) 地域の花き生産者組織との連携

- ・ イベント等における展示, 販売

(オ) 他の植物園との連携

- ・ 日本植物園協会主催の技術者研修会への参加
- ・ 植物個体管理データベース (日本植物園協会管理) の導入準備 (R5 予定)
- ・ 日本植物園協会の WEB 会議による意見交換

③ 施設の維持・補修実績

ア 鹿児島県実施分

修繕箇所	件数	金額(千円)	主な補修内容
園内	維持補修事業 11	40,597	フラワーホール棟空調設備更新, 非常用照明器具更新, 養生温室の装置更新, 排煙窓更新, 受水槽追塩設備増設, 高木剪定, 電話施設, Wi-Fi整備
	災害復旧事業 2	4,697	密閉温室・屋内庭園天井フィルム更新 畑かんパイプ更新

イ フラワーパーク実施分

修繕箇所	件数	金額(千円)	主な補修内容
園内	4	4,600	畑かんパイプ漏水修繕, 事務所ブラインド修繕, 両開き門扉補修等 ※件数は20万円以上

(2) 公園等管理運営事業

吹上浜海浜公園、大隅広域公園及び、北薩広域公園の県立 3 公園と南さつま市人工芝サッカー場や北薩広域公園（さつま町）について、県や市町との基本協定書に基づき、巡視活動や清掃を徹底し、安全で快適な公園環境を提供するとともに、管理に携わる一人ひとりが各公園や施設の特性、役割を十分理解し、地域や利用者から信頼される管理運営に努めた。

公園の利用状況については、非接触型体温計や消毒液、アクリル板の設置の他、注意を促す看板設置や園内アナウンス等の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で開園しており、第 7 波や第 8 波等の感染拡大があったものの、公園施設の利用休止もなく、入園者数は前年度を上回った。

また、令和 4 年度は吹上浜海浜公園と北薩広域公園の第 5 期指定管理の初年度となったが、自主事業や民間企業等との連携強化なども着実に進んでいる。

① 入園者数等の実績

(単位：人 %)

区 分	令和4年度	令和3年度	対前年度比
入 園 者 数	637, 885	580, 106	110. 0
体験教室等利用者数	35, 529	9, 693	※ 366. 5

※ 令和 3 年度はコロナの影響によるイベント中止など利用者数が減少したが、令和 4 年度は新たな自主事業(おもしろ自転車, 電動モビリティ等)の導入や大型イベントの開催で大幅に増加

② 事業実績

ア 安心・安全な施設管理

(ア) 事故・災害の防止等

- ・ 巡視活動による異常箇所、不審者の早期発見に努めるとともに、発見された異常箇所は、速やかに修繕を行った。
- ・ 消火・通報・誘導訓練を各公園 2 回/年実施した。
- ・ キャンプ場宿泊者の安心安全のため、宿泊者のいる夜間は管理員を配置した。

(イ) 専門業者による点検

- ・ 専門的知識や取扱資格を要する浄化槽施設、貯水槽施設、夜間警備等については、専門業者に委託し適正な管理に努めた。

(ウ) 職員の資質向上

- ・ 職員の資質向上のため、外部講師による接遇研修や事務担当者・樹木担当者研修会を開催した。

イ 適正な園地管理

(ア) 公園特性に応じた自然環境の保全育成

- ・ 園地や周囲の自然環境を保全・維持するため、植生管理ゾーンを設け、それぞれのゾーンの特性を考慮した管理に努めた。
- ・ 鹿児島県や市町村から提示された管理基準を満たすとともに、公園施設の利活用推進のために利用頻度の高いエリアの芝刈りや除草の回数を増やした。
- ・ 樹木の特性を考慮した施肥、剪定を実施した。

(イ) 現地の特徴を把握した樹木管理による景観の保持

- ・ 定期的な間伐による景観の保持と、不良木や枯れ枝の除伐を実施した。

(ウ) 南さつま市人工芝サッカー場

- ・ 専用マシンによるブラッシング、ゴムチップ補充を行った。

(エ) かぐや姫グラウンド

- ・ 冬芝播種により緑の芝生の維持に努めたほか、競技種目に応じた芝刈り高さの調整を行った。
- ・ 適正な散水、施肥、殺菌剤等の散布を行うとともに、傷みの激しい箇所の補植等により、良好なグラウンドコンディションの維持に努めた。

ウ 利用増進対策

(ア) 施設の利用機会の拡大

- ・ 公園及び公園施設の利用者が安心・安全、快適に利用でき、年間を通して魅力のある公園づくりを進めるため、3公園とも定期的に「公園利用者と語る会」を開催し、利用者の要望を反映した運営管理を行った。
- ・ 利用者のニーズに対応し、開園時間の延長を行った。(3公園共通)
- ・ キャンプ場の通年開園とオフシーズン(6月・2月)の利用料金20%割引を実施した。(3公園共通)
- ・ 吹上浜海浜公園のホームページの構成やデザインを刷新するとともに、パソコン画面に加えスマートフォン対応の画面も選択できるようリニューアルし、公園の魅力を伝えることのできるウェブサイトの充実に取組んだ。

(ホームページリニューアル実績：R2 北薩広域公園，R3 大隅広域公園)

(イ) イベントの実施や誘致

- ・ 感染防止対策を十分行った上で、春祭り・秋祭りやキャンプ場祭、園芸教室等のイベントの充実にを行った。(3公園共通)
- ・ マリンポートかごしまでは、冬季のイルミネーション設置やミニ門松作り体験会を行った。恒例の元日のぜんざい無料配布は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
- ・ 公園の利用促進のために、自らの責任と財源により、公園利用者のサービス向上に繋がるアクティビティの充実に自主事業として実施した。(おもしろ自転車、電動モビリティ等)

(ウ) サービス向上の取組

- ・ キャンプ場宿泊者を対象とした星空観望会やほたる鑑賞会等を実施したほか、剪定枝を利用した薪の販売やハンモック等のキャンプ用品レンタルの充実に努めた。(3公園共通)
- ・ 季節を感じる公園運営として、七夕飾りやジャンボ門松を設置した。

エ 地域との連携など指定管理者の創意工夫による運営

(ア) NPO団体等との連携

- ・ 民間企業との連携による1人乗りのおもしろ自転車を新たに導入し、多くの来園者に利用していただいた。(吹上浜海浜公園)
- ・ NPO法人等と連携し、ミニ四駆大会等のイベントを実施した。(大隅広域公園)
- ・ 民間企業との連携による電動モビリティを新たに導入し、多くの来園者に利用していただいた。(北薩広域公園)

(イ) 地域コミュニティや地域連携に寄与する管理運営

- ・ 新たな取組として地元酒蔵等と連携し、キャンプ場利用者を対象としたイベント「七蔵焼酎を楽しもう」を開催した。(吹上浜海浜公園)

- ・ 南さつま市観光協会との連携によるキッチンカーを導入し、来園者のサービス向上に努めた。（吹上浜海浜公園）
- ・ 地元幼稚園に協力していただき、七夕飾りを行った。（吹上浜海浜公園）
- ・ 全日本実業団自転車競技連盟に所属する競技選手・チームが参加する全国的な大会である「第1回 JBCF 鹿屋・肝付ロードレース」を、鹿児島県および地元市町と連携のうえ開催し、多くの参加者・観戦者があった。（大隅広域公園）
- ・ 地元幼稚園や小学校と連携し、七夕飾りや田植・稲刈り体験を行った。（北薩広域公園）
- ・ 公園花壇に定植する花苗の一部は、地元農業高校や福祉施設等から購入した。

オ 花・緑豊かなまちづくり

(ア) 県民への都市緑化意識の普及・啓発

- ・ 県立3公園において、園芸教室等（計7回）を実施した。
- ・ 春の都市緑化推進運動期間や都市緑化月間に合わせて、花苗の無料配付や花の種子袋無料配布を実施し、花や緑で彩りと潤いのあるまちづくりを推進した。

(イ) 花・緑豊かなまちづくりボランティア協議会の緑化活動支援

- ・ 当協議会の事務局として緑化活動の助言をしたほか、花育活動として「挿し木」の鉢上げ、定植、管理方法について指導を行った。

③ 維持・補修の実績

利用者の安全・サービスの低下防止及び施設の長寿命化を図るため、異常箇所の早期発見・修理に努めた。

区 分	件 数	金額（千円）	主な修理内容
吹上浜海浜公園	55	3,120	バンガロー給湯器、水道漏水、常設テント鉄骨部材、遊具、レンタサイクル等
大隅広域公園	68	4,109	休憩所屋根、アリーナ非常灯、便所センサー、遊具、井水漏水、浄化槽等
北薩広域公園	36	2,152	浴場床、駐車場白線、東屋竹柵、雨樋い、バンガローデッキ、浄化槽、遊具等
合 計	159	9,381	

3 収益事業

(1) 緑地等管理受託事業

ふれあいとゆとりの道づくり（路傍樹育成保全）事業など12地区(255,962千円)を受託し、花壇、緑地、修景施設等の適正な管理に努めた。

(単位：ha)

委託元	業 務 名	実 績	当 初 計 画
		面 積	面 積
鹿児島県	ふれあいとゆとりの道づくり (路傍樹育成保全) 事業委託	11.99	14.30
	マリレポートかごしま管理 業務委託	24.50	24.50
	鹿児島港臨港道路公園緑地 管理業務委託(1工区)	9.75	9.75
	鹿児島空港周辺用地 修景施設管理業務委託	1.40	1.40
	県庁舎花壇管理業務委託	0.20	0.20
	加世田日吉自転車道線 管理業務委託	3.35	3.35
	桜島港公園緑地刈草除草 業務委託	0.60	1.20
県文化振興財団	上野原縄文の森園地管理業務 委託	25.00	25.00
	霧島アートの森園地管理業務 委託	13.00	13.00
鹿屋市	鹿屋市道黒羽子線等植樹帯 管理委託業務	0.43	0.43
その他	女子寮横・臨時駐車場草刈業務 (鹿児島空港)	1.19	-
	にわ都市駐車場等樹木管理委託	0.55	0.55
合 計		91.96	93.68

(2) フラワーパーク売店運営事業

来園者に、特産品や地元産品、鉢物等を陳列・販売した。

(単位：千円)

年 度	令和4年度	令和3年度	対前年度比
事業収益	23,032	22,456	102.6

(3) 駐車場等運営事業

① にわ都市駐車場

- ・ 月極区画（181区画）について、年間稼働率99.7%で運営した。
- ・ 敷地の一部について、引き続きセブンイレブンに対し貸付を行った。

② 名山駐車場

- ・ 月極区画（外部貸付区画：90区画）について、年間稼働率99.3%で運営した。

③ 吉野駐車場・吉野格納庫跡地

- ・ 吉野格納庫跡地の一部を利用した吉野駐車場の月極区画（34区画）については、年間稼働率99.5%で運営した。
- ・ 吉野駐車場以外の敷地については、近隣の保育園及びこども園を運営する学校法人に対し、園舎立替工事に伴う臨時駐車場として660㎡（30台）を令和3年12月から1年間貸し付けていたが、令和4年12月に契約を更新し、更に1年間貸し付けることとなった。

④ 公社ビル

- ・ ビル内の一部区画について、引き続きファミリーマート及び鹿児島頭脳センターに対し貸付を行った。
- ・ ビル内設備等について、屋上エアコン室外機電線カバー取替工事等、設備類の老朽化に伴う修繕工事を行った他、消火器及び消防ホースの更新等を実施した。

○ 駐車場等運営事業実績

（単位：千円）

区 分	令和4年度	令和3年度	備 考
にわ都市駐車場	16,722	16,778	・ 月極駐車場 ・ 時間貸駐車場（コインパーキング方式） ・ セブンイレブン鹿児島南栄5丁目店
名山駐車場	21,693	21,026	・ 月極駐車場（一般貸付及び内部貸付） ・ 時間貸駐車場（コインパーキング方式及びスマホ決済方式） ・ 土日祝に山形屋へ貸付
吉野駐車場	1,239	720	・ 月極駐車場 ・ 時間貸駐車場（スマホ決済方式）
公社ビル	8,036	8,025	・ ファミリーマート鹿児島市役所前店（1階） ・ 株式会社鹿児島頭脳センター（6階）
合 計	47,690	46,550	

注：千円未満は四捨五入しているため、内訳と合計は一致しないことがある。

4 法人運営

(1) 理事会及び評議員会の開催

① 理事会

ア 第52回理事会（書面）

日 時 令和4年5月9日（月）

- 議 事
- 1 第31回評議員会の開催について
 - 2 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について
 - 3 理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について

イ 第53回理事会

日 時 令和4年6月8日（水）午後3時55分～午後4時46分

場 所 鹿児島市与次郎2丁目8番8号

マリパレスかごしま 3階「マリンホール」

出席数 理事総数9名（出席理事7名），監事総数2名（出席監事2名）

報 告 1 書面決議の結果について

議 事 1 財産管理運用規程の一部改正について

2 令和3年度事業報告及び決算について

監査報告

3 理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について

4 監事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について

5 第32回評議員会の開催について

業務執行報告 1 業務執行理事の業務報告について

ウ 第54回理事会

日 時 令和4年6月24日（金）午後3時55分～午後4時10分

場 所 鹿児島市与次郎2丁目8番8号

マリパレスかごしま 3階「マリンホール」

出席数 理事総数10名（出席理事8名），監事総数2名（出席監事2名）

議 事 1 業務執行理事（常務理事）の選定について

2 常務理事の代行順序について

エ 第55回理事会（書面）

日 時 令和4年8月31日（水）

議 事 1 第33回評議員会の開催について

2 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について

オ 第56回理事会（書面）

日 時 令和4年12月20日（火）

議 事 1 公社職員の給与に関する規程の一部改正について

カ 第57回理事会

日 時 令和5年3月20日（月）午後2時53分～午後3時36分

場 所 鹿児島市与次郎2丁目8番8号

マリパレスかごしま 3階「マリンホール」

出席数 理事総数10名（出席理事10名），監事総数2名（出席監事2名）

報告 1 書面決議の結果について

業務執行報告 1 業務執行理事の業務報告について

議事 1 令和5年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

2 役員等賠償責任保険の更新について

② 評議員会

ア 第31回評議員会（書面）

日時 令和4年5月19日（木）

議事 1 評議員の辞任に伴う補欠選任について

2 理事の辞任に伴う補欠選任について

イ 第32回評議員会

日時 令和4年6月24日（金）午後2時25分～午後3時2分

場所 鹿児島市与次郎2丁目8番8号

マリンパレスかごしま 3階「マリンホール」

出席数 評議員総数8名（出席評議員5名）、出席理事3名、出席監事2名

報告 1 書面決議の結果について

議事 1 議長及び議事録署名人の選出について

2 令和3年度事業報告及び決算について

3 理事の辞任に伴う補欠選任について

4 監事の辞任に伴う補欠選任について

ウ 第33回評議員会（書面）

日時 令和4年9月15日（木）

議事 1 評議員の辞任に伴う補欠選任について

(2) 監事監査の実施

公社監事（堀 善宣、田尻 大志）による監査（令和4年6月1日（水））

- ・ 令和3年度財務状況及び業務執行状況について

(3) その他

① 新型コロナウイルス感染症の影響下における対応

公社職員への安全配慮義務及び感染拡大防止対策を講じた各事業のサービス提供を実現するため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を昨年度に引き続き実施した。

【これまでの取組】

ア 新型コロナウイルス感染症対策における公社職員の行動指針の制定（令和2年度～）

イ 感染又は感染の恐れがある場合の職免適用の通知（令和2年度～）

ウ 感染拡大防止のための時差出勤制度の実施（令和2年度～）

エ 新型コロナウイルス感染症に関する情報を公社職員へ定期的に配信（令和2年度～）

オ 業務で使用するマスク及び体温計、アクリル板、消毒液の購入（令和2年度～）

カ 新型コロナウイルスワクチン接種における職免適用の通知（令和3年度～）

② 働き方改革関連法への対応

働き方改革関連法への対応として、出退勤、時間外勤務及び年次有給休暇等の労務管理を勤怠管理システムの導入によってデジタル化した。

③ 一般事業主行動計画（次世代法）の第5回計画の策定

次世代育成支援対策推進法（次世代法）第12条第1項の規定に基づき、5回目の一般事業主行動計画を次のとおり策定した。

（計画期間）

令和5年4月1日～令和7年3月31日まで2年間

（計画内容）

【目標1】 年次有給休暇の一人当たりの平均取得日数を年間（年度）15日以上とし、夏季特別休暇の取得率100%を目指す。

【目標2】 職員が仕事と家庭の調和（ワークライフバランス）を実現できるように、超過勤務の縮減を目指し、早帰りの執務環境を整備する。

【目標3】 育児休業・介護休業、育児休業給付、出生時育児休業、産前産後休業などの諸制度の周知や育児休業等を取得しやすい環境づくりに努める。

5 令和4年度の主要行事

(1) 総務部関係

期 日	内 容	場 所
令和4年 5月 13日	令和4年度新規採用職員研修	当公社会議室
7月 26日	公益法人等立入検査	当公社会議室
10月 24日, 28日	令和4年度職員研修	当公社会議室
11月 18日	令和4年度管理職等研修	当公社会議室
12月 19日	防災訓練	当公社会議室
12月 23日	永年勤続表彰式	当公社会議室
令和5年 3月 23日	グッドジョブ賞表彰式	当公社会議室

(2) 農地部関係

期 日	内 容	場 所
令和4年 4月 26日	農地中間管理事業市町村等担当者会議	鹿児島市
6月～1月	地域別農業委員会農地利用最適化推進会議	県内各地
6月 28日	人・農地関連施策見直しに係る説明会	(Web 会議)
7月 29日	人・農地プラン推進研修会	鹿児島市
8月 1日・2日	農地中間管理機構九州・沖縄ブロック会議	長崎県
8月 31日	農林水産省農地政策課との意見交換会	(Web 会議)
9月 7日	人・農地関連施策見直しに係る説明会	(Web 会議)
11月 15日	基盤法等の一部改正法に係る通知に関する説明会	(Web 会議)
12月 6日・7日	農地中間管理機構九州・沖縄ブロック研修会	佐賀市
令和5年 2月 3日	農地中間管理事業市町村等担当者会議	鹿児島市
2月 28日	農地中間管理事業評価委員会	鹿児島市
3月 2日	基盤法等の一部改正法に係る通知に関する説明会	(Web 会議)

(3) 畜産事業部関係

期 日	内 容	場 所
令和4年 4月 12日	第19回電子入札運営部会（オンライン会議）	鹿児島市
5月 13日	鹿児島県農業農村整備情報センター通常総会	鹿児島市
6月 16日	全国公社営畜産事業推進協議会第40回通常総会 （書面決議）	東京都
6月 20～21日	令和5年度畜産公共事業予算要求農政局協議 （1回目）	熊本市
6月 30日	令和4年度鹿児島県畜産協会定時総会	鹿児島市
7月 6日	畜産公共事業担当者会議	鹿児島市
10月 20日	令和4年度鹿児島県公共工事契約業務連絡協議会 （オンライン会議）	鹿児島市
10月 20～21日	令和5年度畜産公共事業予算要求農政局協議 （2回目）	熊本市
令和5年 2月 20～21日	令和5年度畜産公共事業予算要求農政局協議 （3回目）	熊本市
3月 30日	令和4年度鹿児島県畜産協会第1回臨時総会	鹿児島市

(4) フラワーパークかごしま関係

期 日	内 容	場 所
令和4年 4月 23日～ 5月 8日	スプリングフェスティバル	フラワーパーク
4月 23日～ 5月 5日	アジサイ展	フラワーパーク
4月 23日～ 5月 8日	ブーゲンビレア展	フラワーパーク
4月 16日～ 7月 10日	地球環境世界児童画コンテスト作品展	フラワーパーク
5月 28日～ 6月 12日	青い花祭り	フラワーパーク
7月 16日～ 10月 2日	フォトコンテスト入賞作品展	フラワーパーク
8月 20日～ 9月 19日	いぶすきシルバー美術展	フラワーパーク
10月 15～31日	ハロウィーンフェスティバル	フラワーパーク
11月 5～27日	緑茶図画コンクール作品展	フラワーパーク
12月 10日～ 1月 2日	イルミネーション	フラワーパーク
12月 10日～ 1月 8日	シクラメン展	フラワーパーク
12月 10日～ 1月 9日	アートフラワー作品展	フラワーパーク
令和5年 2月 4～22日	チューリップ展	フラワーパーク
2月 4～26日	フラワーフェスティバル	フラワーパーク

期 日	内 容	場 所
2月 4～26日	絵夢「花の会」絵画展	フラワーパーク
3月 4～26日	鹿児島野鳥写真展	フラワーパーク
3月19日	ポピーの花摘み	フラワーパーク

(5) 公園管理部関係

※(自主)；自主事業

期 日	内 容	場 所
通 年	(自主)園芸教室 (大隅は花まち事業)	各県立公園
通 年	(自主)竹細工教室	北薩広域公園
通 年	(自主)謎解きサイクリング	吹上浜海浜公園
通 年	(自主)おもしろ自転車(複数人乗り・1人乗り)	吹上浜海浜公園
通 年	おもしろ自転車(1人乗り)	大隅広域公園
通 年	(自主)キッチンカー出店	吹上浜海浜公園
通 年	(自主)電動モビリティ	北薩広域公園
令和4年 4月 25日	前期運営会議	大隅広域公園
26日		北薩広域公園
28日		吹上浜海浜公園
4月 29日	吹上浜海浜公園春祭り	吹上浜海浜公園
5月 4日	北薩広域公園春祭り	北薩広域公園
5月 5日	こども記念日withおおすみハナマルシェ	大隅広域公園
5月 14日, 21日	(自主)ホテル鑑賞会(キャンプ場宿泊者対象)	北薩広域公園
6月 10日	(自主)田植え体験会	北薩広域公園
7月 1日	(自主)七夕飾り(地元保育園)	吹上浜海浜公園
7月 18日	公園感謝デー	北薩広域公園
7月 10日 7月 23日～ 8月 31日 9月 3～4日	(自主)パドラーボート体験	吹上浜海浜公園
8月 7日	吹上浜ウミガメ自然観察会	吹上浜海浜公園
9月 11日	ミニ四駆大会おおすみシリーズ	大隅広域公園
9月 24日	(自主)七蔵焼酎を楽しまう(キャンプ場祭り)	吹上浜海浜公園
10月 26日	後期運営会議	北薩広域公園
31日		大隅広域公園
11月 1日		吹上浜海浜公園
10月 30日	北薩広域公園秋祭り	北薩広域公園
11月 6日	大隅広域公園秋祭り	大隅広域公園
11月 5～6日	(自主)ほくさつコラボキャンプ	北薩広域公園
11月 13日	吹上浜海浜公園秋祭り	吹上浜海浜公園
11月 22日	公園利用者と語る会	吹上浜海浜公園
24日		大隅広域公園
30日		北薩広域公園
11月 13日	第32回高山やぶさめ祭り空手道錬成大会	大隅広域公園
12月 9～25日	イルミネーション設置	マリポ-トかごしま

期 日	内 容	場 所
12月 18日	正月飾り作り体験会	大隅広域公園
12月 25日	(自主)ミニ門松作り体験会	北薩広域公園
12月 25日	ミニ門松作り体験会	マリポートかごしま
令和5年 1月 1～3日	新春正月遊び	吹上浜海浜公園
3月 5日, 19日	(自主)北薩パーク観光農園・たけのこ掘り体験会	北薩広域公園
3月 19日	ミニ四駆大会おすすめシリーズ	大隅広域公園

財 務 諸 表

- 1 貸借対照表
- 2 貸借対照表内訳表
- 3 正味財産増減計算書
- 4 正味財産増減計算書内訳表
- 5 財務諸表に対する注記
- 6 附属明細書
- 7 財産目録

1. 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	579,311,287	519,411,436	59,899,851
未収金	587,169,040	604,720,107	△ 17,551,067
未収補助金	1,034,142,000	987,760,000	46,382,000
たな卸品	2,581,171	2,277,930	303,241
事業用地	27,594,505	46,966,157	△ 19,371,652
未成工事支出金	32,799,070	22,405,000	10,394,070
前払費用	50,030,000	56,660,000	△ 6,630,000
その他前払費用	71,930	3,605,579	△ 3,533,649
未収収益	3,592,640	3,527,161	65,479
立替金	49,944	41,773	8,171
流動資産合計	2,317,341,587	2,247,375,143	69,966,444
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	188,649	191,519	△ 2,870
投資有価証券	21,145,100	21,749,300	△ 604,200
基本財産合計	21,333,749	21,940,819	△ 607,070
(2) 特定資産			
財団運営基本基金引当資産	444,798,000	454,724,800	△ 9,926,800
公益目的事業推進基金引当資産	860,783,400	914,727,800	△ 53,944,400
管理運営基金引当資産	285,330,000	301,580,000	△ 16,250,000
退職給付引当資産	139,999,632	152,111,039	△ 12,111,407
農地中間管理事業資産	4,104,449	6,906,880	△ 2,802,431
特定資産合計	1,735,015,481	1,830,050,519	△ 95,035,038
(3) その他固定資産			
土地	347,746,719	347,746,719	0
建物	267,434,375	266,279,375	1,155,000
建物減価償却累計額	△ 216,103,562	△ 211,336,477	△ 4,767,085
建物附属設備	104,449,405	104,449,405	0
建物附属設備減価償却累計額	△ 94,375,793	△ 92,361,854	△ 2,013,939
構築物	116,238,936	115,841,836	397,100
構築物減価償却累計額	△ 88,793,850	△ 86,896,805	△ 1,897,045
車両運搬具	151,424,722	149,381,992	2,042,730
車両運搬具減価償却累計額	△ 144,355,516	△ 136,204,957	△ 8,150,559
工具器具備品	76,448,038	75,442,850	1,005,188
工具器具備品減価償却累計額	△ 71,696,269	△ 69,647,466	△ 2,048,803
機械装置	149,197,432	128,906,082	20,291,350
機械装置減価償却累計額	△ 99,074,371	△ 93,728,015	△ 5,346,356
電話加入権	1,316,334	1,316,334	0
ソフトウェア	16,311,601	22,374,016	△ 6,062,415
投資有価証券	399,102,350	408,282,515	△ 9,180,165
供託金	122,964	460,080	△ 337,116
長期未収金	3,249,225	3,460,854	△ 211,629
出資金	350,000	350,000	0

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
長期前払費用	583,910	592,240	△ 8,330
貸倒引当金	△ 6,240,064	△ 2	△ 6,240,062
その他固定資産合計	913,336,586	934,708,722	△ 21,372,136
固定資産合計	2,669,685,816	2,786,700,060	△ 117,014,244
資産合計	4,987,027,403	5,034,075,203	△ 47,047,800
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	888,894,436	793,886,019	95,008,417
未払税金	21,334,300	18,952,800	2,381,500
前受収益	2,934,105	1,962,678	971,427
前受補助金	12,001,036	71,935,772	△ 59,934,736
預り金	3,021,103	3,381,285	△ 360,182
前受金	800,660	622,880	177,780
賞与引当金	31,429,373	30,581,034	848,339
前受受益者負担金	23,617,130	19,122,694	4,494,436
流動負債合計	984,032,143	940,445,162	43,586,981
2. 固定負債			
長期未払金	1,865,202	1,200,460	664,742
長期前受収益	500	0	500
長期借入金	14,266,620	31,811,881	△ 17,545,261
長期預り金	14,676,499	15,184,963	△ 508,464
退職給付引当金	143,420,263	148,504,519	△ 5,084,256
固定負債合計	174,229,084	196,701,823	△ 22,472,739
負債合計	1,158,261,227	1,137,146,985	21,114,242
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	25,438,198	28,847,699	△ 3,409,501
指定正味財産合計	25,438,198	28,847,699	△ 3,409,501
(うち基本財産への充当額)	(21,333,749)	(21,940,819)	(△ 607,070)
(うち特定資産への充当額)	(4,104,449)	(6,906,880)	(△ 2,802,431)
2. 一般正味財産	3,803,327,978	3,868,080,519	△ 64,752,541
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,590,911,400)	(1,671,032,600)	(△ 80,121,200)
正味財産合計	3,828,766,176	3,896,928,218	△ 68,162,042
負債及び正味財産合計	4,987,027,403	5,034,075,203	△ 47,047,800

2. 貸借対照表内訳表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	327,686,345	80,157,976	171,466,966	0	579,311,287
未収金	488,660,404	98,503,436	5,200	0	587,169,040
未収補助金	1,034,142,000	0	0	0	1,034,142,000
たな卸品	1,185,500	1,388,011	7,660	0	2,581,171
事業用地	27,594,505	0	0	0	27,594,505
未成工事支出金	32,799,070	0	0	0	32,799,070
前払費用	50,030,000	0	0	0	50,030,000
その他前払費用	0	0	71,930	0	71,930
未収収益	2,519,127	0	1,073,513	0	3,592,640
短期他会計貸付金	42,360	142,108,276	422,828,075	△ 564,978,711	-
立替金	49,944	0	0	0	49,944
他事業貸付金	623,666,268	56,510,779	0	△ 680,177,047	-
流動資産合計	2,588,375,523	378,668,478	595,453,344	△ 1,245,155,758	2,317,341,587
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
普通預金	188,649	0	0	0	188,649
投資有価証券	21,145,100	0	0	0	21,145,100
基本財産合計	21,333,749	0	0	0	21,333,749
(2) 特定資産					
財団運営基本基金引当資産	111,199,500	0	333,598,500	0	444,798,000
公益目的事業推進基金引当資産	860,783,400	0	0	0	860,783,400
管理運営基金引当資産	0	0	285,330,000	0	285,330,000
退職給付引当資産	0	0	139,999,632	0	139,999,632
農地中間管理事業資産	4,104,449	0	0	0	4,104,449
特定資産合計	976,087,349	0	758,928,132	0	1,735,015,481
(3) その他固定資産					
土地	0	332,978,780	14,767,939	0	347,746,719
建物	11,491,134	255,943,241	0	0	267,434,375
建物減価償却累計額	△ 8,832,661	△ 207,270,901	0	0	△ 216,103,562
建物附属設備	565,950	103,883,455	0	0	104,449,405
建物附属設備減価償却累計額	△ 383,269	△ 93,992,524	0	0	△ 94,375,793
構築物	6,658,800	108,710,736	869,400	0	116,238,936
構築物減価償却累計額	△ 4,744,062	△ 83,470,188	△ 579,600	0	△ 88,793,850
車両運搬具	64,698,057	83,611,475	3,115,190	0	151,424,722
車両運搬具減価償却累計額	△ 59,510,077	△ 82,256,302	△ 2,589,137	0	△ 144,355,516
工具器具備品	41,489,448	26,760,879	8,197,711	0	76,448,038
工具器具備品減価償却累計額	△ 39,514,910	△ 24,729,507	△ 7,451,852	0	△ 71,696,269
機械装置	99,868,882	49,328,550	0	0	149,197,432
機械装置減価償却累計額	△ 60,997,072	△ 38,077,299	0	0	△ 99,074,371
電話加入権	0	0	1,316,334	0	1,316,334
ソフトウェア	13,781,498	534,060	1,996,043	0	16,311,601
投資有価証券	0	0	399,102,350	0	399,102,350
供託金	122,964	0	0	0	122,964
長期未収金	3,249,225	0	0	0	3,249,225
出資金	350,000	0	0	0	350,000

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
長期前払費用	337,010	226,230	20,670	0	583,910
貸倒引当金	△ 6,240,064	0	0	0	△ 6,240,064
その他固定資産合計	62,390,853	432,180,685	418,765,048	0	913,336,586
固定資産合計	1,059,811,951	432,180,685	1,177,693,180	0	2,669,685,816
資 産 合 計	3,648,187,474	810,849,163	1,773,146,524	△ 1,245,155,758	4,987,027,403
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	847,024,723	15,295,317	26,574,396	0	888,894,436
未払税金	0	21,334,300	0	0	21,334,300
前受収益	1,650,033	1,239,072	45,000	0	2,934,105
前受補助金	12,001,036	0	0	0	12,001,036
短期他会計借入金	525,524,954	34,953,647	4,500,110	△ 564,978,711	—
預り金	434,533	628,462	1,958,108	0	3,021,103
前受金	800,660	0	0	0	800,660
賞与引当金	24,482,272	3,452,452	3,494,649	0	31,429,373
前受受益者負担金	23,617,130	0	0	0	23,617,130
他事業借入金	623,666,268	56,510,779	0	△ 680,177,047	—
流動負債合計	2,059,201,609	133,414,029	36,572,263	△ 1,245,155,758	984,032,143
2. 固定負債					
長期未払金	1,865,202	0	0	0	1,865,202
長期前受収益	500	0	0	0	500
長期借入金	14,266,620	0	0	0	14,266,620
長期預り金	0	14,676,499	0	0	14,676,499
退職給付引当金	0	0	143,420,263	0	143,420,263
固定負債合計	16,132,322	14,676,499	143,420,263	0	174,229,084
負 債 合 計	2,075,333,931	148,090,528	179,992,526	△ 1,245,155,758	1,158,261,227
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
地方公共団体補助金	25,438,198	0	0	0	25,438,198
指定正味財産合計	25,438,198	0	0	0	25,438,198
(うち基本財産への充当額)	21,333,749	0	0	0	21,333,749
(うち特定資産への充当額)	4,104,449	0	0	0	4,104,449
2. 一般正味財産					
一般正味財産	1,547,415,345	662,758,635	1,593,153,998	0	3,803,327,978
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	971,982,900	0	618,928,500	0	1,590,911,400
正味財産合計	1,572,853,543	662,758,635	1,593,153,998	0	3,828,766,176
負債及び正味財産合計	3,648,187,474	810,849,163	1,773,146,524	△ 1,245,155,758	4,987,027,403

3. 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	306,870	306,871	△ 1
基本財産受取利息	306,870	306,871	△ 1
② 特定資産運用益	18,888,678	18,920,633	△ 31,955
特定資産受取利息	18,888,678	18,920,633	△ 31,955
③ 事業収益	2,350,506,084	2,286,907,008	63,599,076
農地及び畜産に関する事業収益	1,364,278,131	1,340,435,515	23,842,616
公の施設管理運営事業収益	659,799,351	629,873,388	29,925,963
緑地等管理受託事業収益	257,040,117	249,231,372	7,808,745
フラワーパーク売店運営事業収益	23,032,535	22,456,247	576,288
駐車場等運営事業収益	46,355,950	44,910,486	1,445,464
④ 受取補助金等	1,855,631,805	1,770,041,346	85,590,459
農地及び畜産に関する事業補助金	1,852,779,374	1,749,550,191	103,229,183
その他補助金	50,000	6,450,909	△ 6,400,909
受取補助金等振替額	2,802,431	14,040,246	△ 11,237,815
⑤ 雑収益	2,956,043	4,281,076	△ 1,325,033
受取利息	2,346,601	1,874,288	472,313
雑収益	609,442	2,406,788	△ 1,797,346
経常収益計	4,228,289,480	4,080,456,934	147,832,546
(2) 経常費用			
① 事業費	4,179,542,384	4,044,899,428	134,642,956
役員報酬	21,980,899	21,937,363	43,536
給料手当	322,887,003	322,330,171	556,832
賞与	60,139,012	56,098,767	4,040,245
賞与引当金繰入額	31,258,641	30,449,708	808,933
退職給付引当金繰入額	17,481,715	21,505,916	△ 4,024,201
法定福利費	68,793,644	67,160,197	1,633,447
福利厚生費	2,170,571	2,133,136	37,435
補助員賃金	247,223,910	240,818,053	6,405,857
補助員法定福利費	38,339,794	35,660,219	2,679,575
会議費	215,416	97,361	118,055
旅費交通費	11,754,124	8,448,073	3,306,051
通信運搬費	7,476,124	8,317,043	△ 840,919
減価償却費	39,107,041	41,362,288	△ 2,255,247
備品費	9,591,442	9,138,623	452,819
消耗品費	36,458,115	31,723,509	4,734,606
修繕費	28,775,121	31,205,666	△ 2,430,545
図書印刷費	2,452,536	2,819,901	△ 367,365
燃料費	15,598,266	15,865,946	△ 267,680
光熱水料費	40,578,714	33,127,591	7,451,123
賃借料	23,439,790	15,919,194	7,520,596

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
保険料	6,800,895	6,189,444	611,451
諸謝金	911,429	800,821	110,608
顧問料	1,847,340	1,847,340	0
租税公課	14,613,424	14,908,715	△ 295,291
消費税	60,798,110	60,157,817	640,293
支払会費負担金	4,815,341	3,169,775	1,645,566
委託費	250,153,733	226,821,200	23,332,533
交際費	31,924	3,500	28,424
支払手数料	7,939,141	9,675,934	△ 1,736,793
広告宣伝費	3,523,997	3,592,391	△ 68,394
材料費	50,366,424	49,284,071	1,082,353
用地売渡原価	47,769,252	59,763,713	△ 11,994,461
用地評価損	0	19,193,675	△ 19,193,675
賃料原価	878,239,570	830,301,966	47,937,604
貸倒引当金繰入額	6,240,062	0	6,240,062
貸倒損失	866,549	557,271	309,278
商品売上原価	13,230,670	12,681,148	549,522
販売促進費	36,000	192,500	△ 156,500
外注費	1,802,458,390	1,735,802,080	66,656,310
雑費	771,833	354,367	417,466
補助金返還額	2,406,422	13,482,975	△ 11,076,553
② 管理費	12,081,239	10,999,515	1,081,724
役員報酬	4,529,748	4,608,669	△ 78,921
給料手当	1,999,655	1,481,757	517,898
賞与	324,679	288,685	35,994
賞与引当金繰入額	170,732	131,326	39,406
退職給付引当金繰入額	76,490	46,882	29,608
法定福利費	1,075,528	938,290	137,238
福利厚生費	26,384	33,608	△ 7,224
補助員賃金	10,370	11,773	△ 1,403
補助員法定福利費	1,090	1,496	△ 406
会議費	151,780	140,193	11,587
旅費交通費	82,760	56,322	26,438
通信運搬費	136,849	126,554	10,295
減価償却費	331,914	447,790	△ 115,876
備品費	12,837	12,092	745
消耗品費	336,039	335,450	589
修繕費	244,253	95,014	149,239
図書印刷費	3,843	3,592	251
燃料費	124,554	100,387	24,167
光熱水料費	814,968	658,909	156,059
賃借料	30,089	1,652	28,437
保険料	228,644	180,526	48,118
諸謝金	927	0	927
顧問料	18,660	18,660	0
租税公課	1,148,526	1,116,285	32,241

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
消費税	1,390	1,483	△ 93
支払会費負担金	3,766	4,024	△ 258
委託費	8,140	0	8,140
支払手数料	19,644	41,802	△ 22,158
広告宣伝費	2,600	1,910	690
雑費	164,380	114,384	49,996
経常費用計	4,191,623,623	4,055,898,943	135,724,680
評価損益等調整前当期経常増減額	36,665,857	24,557,991	12,107,866
特定資産評価損益等	△ 87,171,981	△ 28,775,461	△ 58,396,520
投資有価証券評価損益等	△ 9,176,510	△ 4,219,838	△ 4,956,672
評価損益計	△ 96,348,491	△ 32,995,299	△ 63,353,192
当期経常増減額	△ 59,682,634	△ 8,437,308	△ 51,245,326
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	483,994	13,497	470,497
工具器具備品売却益	0	1,999	△ 1,999
機械装置売却益	483,994	11,498	472,496
引当金戻入額	0	72,813	△ 72,813
引当金戻入額	0	72,813	△ 72,813
償却債権取立益	100,000	0	100,000
償却債権取立益	100,000	0	100,000
経常外収益計	583,994	86,310	497,684
(2) 経常外費用			
除却損失	1	120,724	△ 120,723
工具器具除却損	1	0	1
ソフトウェア除却損	0	120,724	△ 120,724
経常外費用計	1	120,724	△ 120,723
当期経常外増減額	583,993	△ 34,414	618,407
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 59,098,641	△ 8,471,722	△ 50,626,919
他会計振替額	—	—	—
税引前当期一般正味財産増減額	△ 59,098,641	△ 8,471,722	△ 50,626,919
法人税、住民税及び地方税	5,653,900	2,297,100	3,356,800
当期一般正味財産増減額	△ 64,752,541	△ 10,768,822	△ 53,983,719
一般正味財産期首残高	3,868,080,519	3,878,849,341	△ 10,768,822
一般正味財産期末残高	3,803,327,978	3,868,080,519	△ 64,752,541
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	20,947,126	△ 20,947,126
農地及び畜産に関する事業補助金	0	20,947,126	△ 20,947,126
基本財産運用益	306,870	306,871	△ 1
基本財産受取利息	306,870	306,871	△ 1
基本財産評価損益等	△ 607,070	△ 426,570	△ 180,500
一般正味財産への振替額	△ 3,109,301	△ 14,347,117	11,237,816
一般正味財産への振替額	△ 3,109,301	△ 14,347,117	11,237,816
当期指定正味財産増減額	△ 3,409,501	6,480,310	△ 9,889,811
指定正味財産期首残高	28,847,699	22,367,389	6,480,310
指定正味財産期末残高	25,438,198	28,847,699	△ 3,409,501
III 正味財産期末残高	3,828,766,176	3,896,928,218	△ 68,162,042

4. 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計			
	農地及び畜産 に関する事業	公の施設 管理運営事業	共 通	小 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	306,870	306,870
基本財産受取利息	0	0	306,870	306,870
特定資産運用益	0	0	10,494,713	10,494,713
特定資産受取利息	0	0	10,494,713	10,494,713
事業収益	1,364,278,131	659,799,351	0	2,024,077,482
農地及び畜産に関する事業収益	1,364,278,131	0	0	1,364,278,131
公の施設管理運営事業収益	0	659,799,351	0	659,799,351
受取補助金等	1,855,581,805	50,000	0	1,855,631,805
農地及び畜産に関する事業補助金	1,852,779,374	0	0	1,852,779,374
その他補助金	0	50,000	0	50,000
受取補助金等振替額	2,802,431	0	0	2,802,431
雑収益	0	0	3,293	3,293
受取利息	0	0	3,293	3,293
経常収益計	3,219,859,936	659,849,351	10,804,876	3,890,514,163
(2) 経常費用				
事業費	3,221,174,111	672,278,787	0	3,893,452,898
役員報酬	19,407,940	1,458,832	0	20,866,772
給料手当	150,915,415	133,373,016	0	284,288,431
賞与	29,405,375	23,655,860	0	53,061,235
賞与引当金繰入額	16,014,055	11,605,124	0	27,619,179
退職給付引当金繰入額	9,488,391	4,859,751	0	14,348,142
法定福利費	32,966,881	28,038,049	0	61,004,930
福利厚生費	800,085	1,112,145	0	1,912,230
補助員賃金	14,145,557	147,466,274	0	161,611,831
補助員法定福利費	2,240,837	22,636,387	0	24,877,224
会議費	160,630	30,452	0	191,082
旅費交通費	10,045,999	1,392,607	0	11,438,606
通信運搬費	2,667,267	3,551,523	0	6,218,790
減価償却費	8,439,051	18,736,293	0	27,175,344
備品費	1,714,757	5,029,440	0	6,744,197
消耗品費	5,047,336	20,085,680	0	25,133,016
修繕費	2,426,633	18,160,034	0	20,586,667
図書印刷費	1,409,500	996,911	0	2,406,411
燃料費	632,910	9,452,347	0	10,085,257
光熱水料費	2,279,691	36,669,231	0	38,948,922
賃借料	10,634,448	9,637,402	0	20,271,850
保険料	632,319	3,439,765	0	4,072,084
諸謝金	20,407	879,890	0	900,297
顧問料	895,680	727,740	0	1,623,420
租税公課	3,572,372	1,641,749	0	5,214,121
消費税	6,077,368	34,188,360	0	40,265,728
支払会費負担金	1,879,663	2,675,458	0	4,555,121
委託費	144,792,224	84,261,164	0	229,053,388
交際費	21,758	10,166	0	31,924
支払手数料	2,419,961	2,873,428	0	5,293,389
広告宣伝費	1,402,500	2,070,297	0	3,472,797
材料費	0	41,439,750	0	41,439,750

(単位：円)

科目	公益目的事業会計			
	農地及び畜産 に関する事業	公の施設 管理運営事業	共通	小計
用地売渡原価	47,769,252	0	0	47,769,252
賃料原価	878,239,570	0	0	878,239,570
貸倒引当金繰入額	6,240,062	0	0	6,240,062
貸倒損失	866,549	0	0	866,549
外注費	1,802,458,390	0	0	1,802,458,390
雑費	636,856	123,662	0	760,518
補助金返還額	2,406,422	0	0	2,406,422
経常費用計	3,221,174,111	672,278,787	0	3,893,452,898
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,314,175	△ 12,429,436	10,804,876	△ 2,938,735
特定資産評価損益等	0	0	△ 56,370,334	△ 56,370,334
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	△ 56,370,334	△ 56,370,334
当期経常増減額	△ 1,314,175	△ 12,429,436	△ 45,565,458	△ 59,309,069
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	472,995	0	472,995
機械装置売却益	0	472,995	0	472,995
償却債権取立益	100,000	0	0	100,000
償却債権取立益	100,000	0	0	100,000
経常外収益計	100,000	472,995	0	572,995
(2) 経常外費用				
除却損失	0	1	0	1
工具器具備品除却損	0	1	0	1
経常外費用計	0	1	0	1
当期経常外増減額	100,000	472,994	0	572,994
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 1,214,175	△ 11,956,442	△ 45,565,458	△ 58,736,075
他会計振替額	14,501,213	11,956,442	△ 7,548,044	18,909,611
税引前当期一般正味財産増減額	13,287,038	0	△ 53,113,502	△ 39,826,464
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	13,287,038	0	△ 53,113,502	△ 39,826,464
一般正味財産期首残高	215,749,910	11,182,924	1,360,308,975	1,587,241,809
一般正味財産期末残高	229,036,948	11,182,924	1,307,195,473	1,547,415,345
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	0	0	306,870	306,870
基本財産受取利息	0	0	306,870	306,870
基本財産評価損益等	0	0	△ 607,070	△ 607,070
一般正味財産への振替額	△ 2,802,431	0	△ 306,870	△ 3,109,301
一般正味財産への振替額	△ 2,802,431	0	△ 306,870	△ 3,109,301
当期指定正味財産増減額	△ 2,802,431	0	△ 607,070	△ 3,409,501
指定正味財産期首残高	6,906,880	0	21,940,819	28,847,699
指定正味財産期末残高	4,104,449	0	21,333,749	25,438,198
III 正味財産期末残高	233,141,397	11,182,924	1,328,529,222	1,572,853,543

(単位：円)

科 目	収益事業等会計				
	緑地等管理 受託事業	フラワーパーク 売店運営事業	駐車場等運営 事業	共 通	小 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
事業収益	257,246,317	23,032,535	47,689,632	0	327,968,484
緑地等管理受託事業収益	257,246,317	0	0	0	257,246,317
フラワーパーク売店運営事業収益	0	23,032,535	0	0	23,032,535
駐車場等運営事業収益	0	0	47,689,632	0	47,689,632
雑収益	0	11	0	2,130	2,141
受取利息	0	11	0	2,130	2,141
経常収益計	257,246,317	23,032,546	47,689,632	2,130	327,970,625
(2) 経常費用					
事業費	235,123,199	25,288,853	27,829,167	0	288,241,219
役員報酬	637,459	232,855	243,813	0	1,114,127
給料手当	31,866,010	2,588,469	4,144,093	0	38,598,572
賞与	6,025,458	306,724	745,595	0	7,077,777
賞与引当金繰入額	3,177,613	126,651	335,198	0	3,639,462
退職給付引当金繰入額	3,071,063	21,712	40,798	0	3,133,573
法定福利費	6,393,658	528,165	866,891	0	7,788,714
福利厚生費	221,211	13,248	23,882	0	258,341
補助員賃金	79,384,484	4,679,300	1,548,295	0	85,612,079
補助員法定福利費	12,543,337	739,240	179,993	0	13,462,570
会議費	24,272	31	31	0	24,334
旅費交通費	312,202	1,658	1,658	0	315,518
通信運搬費	969,715	30,300	257,319	0	1,257,334
減価償却費	7,135,534	322,484	4,473,679	0	11,931,697
備品費	2,821,565	12,840	12,840	0	2,847,245
消耗品費	10,698,157	156,138	470,804	0	11,325,099
修繕費	6,845,289	34,206	1,308,959	0	8,188,454
図書印刷費	38,437	3,844	3,844	0	46,125
燃料費	5,512,633	188	188	0	5,513,009
光熱水料費	1,199,593	0	430,199	0	1,629,792
賃借料	3,862,915	1,364,734	59,064	0	5,286,713
保険料	2,469,815	47,159	211,837	0	2,728,811
諸謝金	9,276	928	928	0	11,132
顧問料	186,600	18,660	18,660	0	223,920
租税公課	2,563,453	22,687	6,813,163	0	9,399,303
消費税	16,667,412	651,491	3,213,479	0	20,532,382
支払会費負担金	252,686	3,767	3,767	0	260,220
委託費	19,117,265	8,140	2,007,900	0	21,133,305
支払手数料	2,157,198	78,864	409,690	0	2,645,752
広告宣伝費	46,000	2,600	2,600	0	51,200
材料費	8,903,574	23,100	0	0	8,926,674
商品売上原価	0	13,230,670	0	0	13,230,670
販売促進費	0	36,000	0	0	36,000
雑費	9,315	2,000	0	0	11,315
経常費用計	235,123,199	25,288,853	27,829,167	0	288,241,219
評価損益等調整前当期経常増減額	22,123,118	△ 2,256,307	19,860,465	2,130	39,729,406
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	22,123,118	△ 2,256,307	19,860,465	2,130	39,729,406
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
固定資産売却益	10,999	0	0	0	10,999
機械装置売却益	10,999	0	0	0	10,999
経常外収益計	10,999	0	0	0	10,999
(2) 経常外費用					
当期経常外増減額	10,999	0	0	0	10,999
他会計振替前当期一般正味財産増減額	22,134,117	△ 2,256,307	19,860,465	2,130	39,740,405
他会計振替額	△ 22,134,117	0	△ 19,860,465	22,960,157	△ 19,034,425
税引前当期一般正味財産増減額	0	△ 2,256,307	0	22,962,287	20,705,980
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	5,653,900	5,653,900
当期一般正味財産増減額	0	△ 2,256,307	0	17,308,387	15,052,080
一般正味財産期首残高	221,737,927	6,837,936	367,610,781	51,519,911	647,706,555
一般正味財産期末残高	221,737,927	4,581,629	367,610,781	68,828,298	662,758,635
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	221,737,927	4,581,629	367,610,781	68,828,298	662,758,635

(単位：円)

科 目	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	306,870
基本財産受取利息	0	0	306,870
特定資産運用益	8,393,965	0	18,888,678
特定資産受取利息	8,393,965	0	18,888,678
事業収益	0	△ 1,539,882	2,350,506,084
農地及び畜産に関する事業収益	0	0	1,364,278,131
公の施設管理運営事業収益	0	0	659,799,351
緑地等管理受託事業収益	0	△ 206,200	257,040,117
フラワーパーク売店運営事業収益	0	0	23,032,535
駐車場等運営事業収益	0	△ 1,333,682	46,355,950
受取補助金等	0	0	1,855,631,805
農地及び畜産に関する事業補助金	0	0	1,852,779,374
その他補助金	0	0	50,000
受取補助金等振替額	0	0	2,802,431
雑収益	3,839,127	△ 888,518	2,956,043
受取利息	2,341,167	0	2,346,601
雑収益	1,497,960	△ 888,518	609,442
経常収益計	12,233,092	△ 2,428,400	4,228,289,480
(2) 経常費用			
事業費	0	△ 2,151,733	4,179,542,384
役員報酬	0	0	21,980,899
給料手当	0	0	322,887,003
賞与	0	0	60,139,012
賞与引当金繰入額	0	0	31,258,641
退職給付引当金繰入額	0	0	17,481,715
法定福利費	0	0	68,793,644
福利厚生費	0	0	2,170,571
補助員賃金	0	0	247,223,910
補助員法定福利費	0	0	38,339,794
会議費	0	0	215,416
旅費交通費	0	0	11,754,124
通信運搬費	0	0	7,476,124
減価償却費	0	0	39,107,041
備品費	0	0	9,591,442
消耗品費	0	0	36,458,115
修繕費	0	0	28,775,121
図書印刷費	0	0	2,452,536
燃料費	0	0	15,598,266
光熱水料費	0	0	40,578,714
賃借料	0	△ 2,118,773	23,439,790
保険料	0	0	6,800,895
諸謝金	0	0	911,429
顧問料	0	0	1,847,340
租税公課	0	0	14,613,424
消費税	0	0	60,798,110
支払会費負担金	0	0	4,815,341
委託費	0	△ 32,960	250,153,733

(単位：円)

科 目	法人会計	内部取引消去	合 計
交際費	0	0	31,924
支払手数料	0	0	7,939,141
広告宣伝費	0	0	3,523,997
材料費	0	0	50,366,424
用地売渡原価	0	0	47,769,252
賃料原価	0	0	878,239,570
貸倒引当金繰入額	0	0	6,240,062
貸倒損失	0	0	866,549
商品売上原価	0	0	13,230,670
販売促進費	0	0	36,000
外注費	0	0	1,802,458,390
雑費	0	0	771,833
補助金返還額	0	0	2,406,422
管理費	12,357,906	△ 276,667	12,081,239
役員報酬	4,529,748	0	4,529,748
給料手当	1,999,655	0	1,999,655
賞与	324,679	0	324,679
賞与引当金繰入額	170,732	0	170,732
退職給付引当金繰入額	76,490	0	76,490
法定福利費	1,075,528	0	1,075,528
福利厚生費	26,384	0	26,384
補助員賃金	10,370	0	10,370
補助員法定福利費	1,090	0	1,090
会議費	151,780	0	151,780
旅費交通費	82,760	0	82,760
通信運搬費	136,849	0	136,849
減価償却費	331,914	0	331,914
備品費	12,837	0	12,837
消耗品費	336,039	0	336,039
修繕費	244,253	0	244,253
図書印刷費	3,843	0	3,843
燃料費	124,554	0	124,554
光熱水料費	814,968	0	814,968
賃借料	133,516	△ 103,427	30,089
保険料	228,644	0	228,644
諸謝金	927	0	927
顧問料	18,660	0	18,660
租税公課	1,148,526	0	1,148,526
消費税	1,390	0	1,390
支払会費負担金	3,766	0	3,766
委託費	181,380	△ 173,240	8,140
支払手数料	19,644	0	19,644
広告宣伝費	2,600	0	2,600
雑費	164,380	0	164,380
経常費用計	12,357,906	△ 2,428,400	4,191,623,623
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 124,814	0	36,665,857
特定資産評価損益等	△ 30,801,647	0	△ 87,171,981
投資有価証券評価損益等	△ 9,176,510	0	△ 9,176,510
評価損益等計	△ 39,978,157	0	△ 96,348,491
当期経常増減額	△ 40,102,971	0	△ 59,682,634

(単位：円)

科 目	法人会計	内部取引消去	合 計
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	483,994
機械装置売却益	0	0	483,994
償却債権取立益	0	0	100,000
償却債権取立益	0	0	100,000
経常外収益計	0	0	583,994
(2) 経常外費用			
除却損失	0	0	1
工具器具備品除却損	0	0	1
経常外費用計	0	0	1
当期経常外増減額	0	0	583,993
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 40,102,971	0	△ 59,098,641
他会計振替額	124,814	0	—
税引前当期一般正味財産増減額	△ 39,978,157	0	△ 59,098,641
法人税、住民税及び事業税	0	0	5,653,900
当期一般正味財産増減額	△ 39,978,157	0	△ 64,752,541
一般正味財産期首残高	1,633,132,155	0	3,868,080,519
一般正味財産期末残高	1,593,153,998	0	3,803,327,978
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
農地及び畜産に関する事業補助金	0	0	0
その他補助金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	306,870
基本財産受取利息	0	0	306,870
基本財産評価損益等	0	0	△ 607,070
一般正味財産への振替額	0	0	△ 3,109,301
一般正味財産への振替額	0	0	△ 3,109,301
当期指定正味財産増減額	0	0	△ 3,409,501
指定正味財産期首残高	0	0	28,847,699
指定正味財産期末残高	0	0	25,438,198
III 正味財産期末残高	1,593,153,998	0	3,828,766,176

5. 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的以外の債券・・・証券会社からの時価評価情報に基づき時価にて評価した。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

たな卸品・・・先入先出法による原価法

事業用地・・・個別法による低価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法。ただし平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法、なお主な耐用年数は次のとおりである。

建物	2～50年	建物附属設備	6～18年
構築物	10～45年	車両運搬具	3～6年
工具器具備品	2～20年	機械装置	5～17年

②無形固定資産

ソフトウェア・・・残存価格を零とする定額法を採用している。

(4) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については過去の貸倒実績をもとに算出した貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

②賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

③退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

なお、増減額には評価損益が下記のとおり含まれる。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	うち評価損益
基本財産					
普通預金	191,519	0	2,870	188,649	0
投資有価証券	21,749,300	2,176,619	2,780,819	21,145,100	2,173,749
基本財産計	21,940,819	2,176,619	2,783,689	21,333,749	2,173,749
特定資産					
財団運営基本基金	454,724,800	45,854,302	55,781,102	444,798,000	45,748,441
公益目的事業推進基金	914,727,800	100,000,000	153,944,400	860,783,400	△ 39,971,727
管理運営基金	301,580,000	400,000	16,650,000	285,330,000	△ 14,670,000
退職給付引当資産	152,111,039	2,979,369	15,090,776	139,999,632	△ 3,420,631
農地中間管理事業資産	6,906,880	0	2,802,431	4,104,449	0
特定資産計	1,830,050,519	149,233,671	244,268,709	1,735,015,481	△ 12,313,917
合計	1,851,991,338	151,410,290	247,052,398	1,756,349,230	△ 10,140,168

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
普通預金	188,649	(188,649)		
投資有価証券	21,145,100	(21,145,100)		
小計	21,333,749	(21,333,749)		
特定資産				
財団運営基本基金	444,798,000		(444,798,000)	
公益目的事業推進基金	860,783,400		(860,783,400)	
管理運営基金	285,330,000		(285,330,000)	
退職給付引当資産	139,999,632			(143,420,263)
農地中間管理事業資産	4,104,449	(4,104,449)		
小計	1,735,015,481	(4,104,449)	(1,590,911,400)	(143,420,263)
合計	1,756,349,230	(25,438,198)	(1,590,911,400)	(143,420,263)

※退職給付引当資産の当期末残高と、うち負債に対応する額との差額は評価損益である。

5. 担保に供している資産

該当事項なし。

6. 債務保証等の偶発債務

該当事項なし。

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項なし。

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
農地中間管理事業補助金	鹿児島県	0	281,993,638	281,993,638	0	—
農地売買等事業補助金	鹿児島県	0	10,362,000	10,362,000	0	—
畜産公共事業補助金	鹿児島県	71,935,772	1,500,489,000	1,560,423,736	12,001,036	流動負債
公の施設管理運営事業補助金	鹿児島県	0	50,000	50,000	0	
受取補助金等振替額	鹿児島県	0	2,802,431	2,802,431	0	
合計		71,935,772	1,795,697,069	1,855,631,805	12,001,036	

9. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当事項なし。

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	306,870
受取補助金等振替額	2,802,431
合計	3,109,301

11. 関連当事者との取引内容

該当事項なし。

12. 重要な後発事象

該当事項なし。

13. その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

該当事項なし。

6. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、内容の記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目 的 使 用	そ の 他	
貸倒引当金	2	6,240,062	0	0	6,240,064
賞与引当金	30,581,034	31,429,373	30,581,034	0	31,429,373
退職給付引当金	148,504,519	32,945,280	38,029,536	0	143,420,263

7. 財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金 預金 未収金 未収補助金 たな卸品 事業用地 未成工事支出金 前払外注費 その他前払費用 未収利息 立替金	現金	手許保管	運転資金として	2,166,890
	預金	普通預金 鹿児島銀行 県庁支店他	運転資金として	559,456,900
		普通預金 鹿児島県信連 本所	運転資金として	17,682,377
	未収金	普通預金 鹿児島興信 本店	運転資金として	5,120
		農地賃借人他	農地中間管理事業に係る未収金	14,848,592
		志布志市他	畜産公共事業に係る未収金	435,831,000
		鹿児島県他	フラワーパークかごしま管理運営事業に係る未収金	3,653,980
		鹿児島県他	公園等管理運営事業に係る未収金	34,326,832
		鹿児島県他	緑地等管理受託事業に係る未収金	98,120,100
		フラワーパーク自動販売機設置業者他	フラワーパーク売店運営事業に係る未収金	383,236
	未収補助金	名山駐車場月極利用者	駐車場等運営事業に係る未収金	100
		(公財)公益法人協会他	法人会計に係る未収金	5,200
	たな卸品	鹿児島県	畜産公共事業に係る未収補助金	1,034,142,000
	事業用地	フラワーパーク売店他	フラワーパーク売店商品等	2,581,171
	未成工事支出金	知名町他	農地売買等事業 事業農地	27,594,505
	前払外注費	畜産公共事業外注先	畜産公共事業に係る未成工事代金	32,799,070
	その他前払費用	畜産公共事業外注先	畜産公共事業に係る前払工事代金	50,030,000
	未収利息	損害保険代理店他	傷害危険担保特約保険	71,930
	立替金	SMBC日興証券株他	有価証券経過利息	3,592,640
	公園自動販売機設置業者他	自販機電気代他	49,944	
流動資産合計				2,317,341,587
(固定資産)				
基本財産	普通預金	鹿児島銀行 県庁支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共通の財源として使用している。	188,649
	投資有価証券	利付国債20年第143回	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共通の財源として使用している。	21,145,100
特定資産	財団運営基本基金引当資産	利付国債20年第136回	額面1億円は、公益目的保有財産として、運用益を公益目的事業共通の財源として使用している。	111,199,500
			額面3億円は、公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産として、運用益を管理業務の財源として使用している。	333,598,500
	公益目的事業推進基金引当資産	北海道電力20年第383回他	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共通の財源として使用している。	860,783,400
	管理運営基金引当資産	第9回東京電力パワーグリッド債12年他	公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産であり、運用益を管理業務の財源として使用している。	285,330,000
	退職給付引当資産	利付国債20年第152回他	職員の退職金支払いの財源として積み立てている。	139,999,632
その他固定資産	農地中間管理事業資産	普通預金 鹿児島銀行 県庁支店	農地中間管理事業における賃料の未収金の充当財源として積み立てている。	4,104,449
	土地	名山町4番3号 380.19㎡	公社ビル 公益目的事業に必要な収益事業等の用に供する財産であり、駐車場等運営事業で使用している。	136,530,000
		名山町10番5号 1,412.99㎡	名山駐車場 公益目的事業に必要な収益事業等の用に供する財産であり、駐車等運営事業で使用している。	53,931,446
		名山町10番5号 104.42㎡	名山書庫 公益目的事業に必要な収益事業等の用に供する財産であり、駐車等運営事業で使用している。	3,985,535
		吉野町8910-1他1筆 5,522.64㎡	吉野倉庫跡地他 一部貸付2,000㎡ 公益目的事業に必要な収益事業等の用に供する財産であり、駐車等運営事業で使用している。	8,263,211
			未貸付3,522.64㎡ 管理業務で管理している。	14,767,939
	谷山港3丁目1-3 4,000.06㎡	谷山港資材センター 公益目的事業に必要な収益事業等の用に供する財産であり、緑地等管理受託事業で使用している。	84,023,610	

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
建物	南栄5丁目10-22 6,164.10㎡	にわ都市駐車場 公益目的事業に必要な収益事業等の用に供する財産であり、駐車場等運営事業で使用している。	46,244,978
	名山町公社ビル 2,697.78㎡他	公益目的事業に必要な収益事業等の用に供する財産であり、駐車場等運営事業で使用している。	38,608,401
	名山町書庫 104.42㎡	公益目的事業に必要な収益事業等の用に供する財産であり、駐車場等運営事業で使用している。	9,607,873
建物附属設備	マリンポートかごしま ユニットハウス他	公益目的事業に必要な収益事業等の用に供する財産であり、緑地等管理受託事業で使用している。	456,066
	吹上浜海浜公園内プレハブ他	公益目的保有財産であり、畜産公共事業、フラワーパークかごしま管理運営事業、公園等管理運営事業で使用している。	2,658,473
	フラワーパーク 蝶の館温風暖房器他	公益目的保有財産でありフラワーパークかごしま管理運営事業、公園等管理運営事業で使用している。	182,681
構築物	名山町公社ビル 空調設備他	公益目的事業に必要な収益事業等の用に供する財産であり、駐車場等運営事業で使用している。	9,890,931
	フラワーパーク 蝶の館他	公益目的保有財産であり、フラワーパークかごしま管理運営事業、公園等管理運営事業で使用している。	1,914,738
	名山駐車場他	公益目的事業に必要な収益事業等の用に供する財産であり、緑地等管理受託事業、駐車場等運営事業で使用している。	25,240,548
車両運搬具	吉野倉庫跡地門扉	管理業務で管理している財産である。	289,800
	畜産事業部 カラーフィールダー他	公益目的保有財産であり、畜産公共事業、フラワーパークかごしま管理運営事業、公園等管理運営事業で使用している。	5,187,980
	谷山港資材センター ダンプトラック他	公益目的事業に必要な収益事業等の用に供する財産であり、緑地等管理受託事業で使用している。	1,355,173
工具器具備品	シエンタ他	公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産であり、管理業務で使用している。	526,053
	吹上浜海浜公園 高圧洗浄機他	公益目的保有財産であり、農地中間管理事業、畜産公共事業、フラワーパークかごしま管理運営事業、公園等管理運営事業で使用している。	1,974,538
	名山駐車場 コインパーキング工事他	公益目的事業に必要な収益事業等の用に供する財産であり、緑地等管理受託事業、フラワーパーク売店運営事業、駐車場等運営事業で使用している。	2,031,372
機械装置	自動音声対応装置他	公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産であり、管理業務で使用している。	745,859
	吹上浜海浜公園 乗用芝刈機他	公益目的保有財産であり、フラワーパークかごしま管理運営事業、公園等管理運営事業で使用している。	38,871,810
	谷山港資材センター 樹木粉碎機他	公益目的事業に必要な収益事業等の用に供する財産であり、緑地等管理受託事業で使用している。	11,251,251
電話加入権	本社ビル内	公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産であり、管理業務で使用している。	1,316,334
ソフトウェア	入札管理システム他	公益目的保有財産であり、農地中間管理事業、畜産公共事業、フラワーパークかごしま管理運営事業で使用している。	13,781,498
	生産管理システム改修	公益目的事業に必要な収益事業等の用に供する財産であり、フラワーパーク売店運営事業で使用している。	534,060
	公益法人会計システム他	公益目的事業に必要な法人管理活動の用に供する財産であり管理業務で使用している。	1,996,043
投資有価証券	九州電力債10年第449回他	管理業務で管理されている運用資産	399,102,350
供託金	鹿児島県地方務局	農地中間管理事業に係る供託金	122,964
長期未収金	農地中間管理事業活用者(賃借人)他	農地中間管理事業賃借料	3,249,225

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
出資金	(公社)全国農地保有合理化協会	公益目的保有財産であり、農地売買等事業 債務保証資金である。	350,000
長期前払費用	リサイクル預託金	畜産公共事業、フラワーパークかごしま管理運営事業、公園等管理運営事業車両 緑地等管理受託事業車両 法人会計車両	337,010 226,230 20,670
貸倒引当金		農地中間管理事業の賃料債権の貸倒れに備えたもの	△ 6,240,064
固定資産合計			2,669,685,816
資産合計			4,987,027,403
(流動負債)			
未払金	農地賃借人他 日進印刷他 畜産公共事業外注先他 ㈱芙蓉商事他 NTTファイナンス(株)他 NTTファイナンス(株)他 フラワーパーク売店商品仕入業者他 NTTファイナンス(株)他 九州電力(株)他	農地中間管理事業に係る未払金 農地売買等事業に係る未払金 畜産公共事業に係る未払金 フラワーパークかごしま管理運営事業に係る未払金 公園等管理運営事業に係る未払金 緑地等管理受託事業に係る未払金 フラワーパーク売店運営事業に係る未払金 駐車場等運営事業に係る未払金 法人会計に係る未払金	140,953,225 1,338,690 668,994,004 12,897,726 22,841,078 12,707,091 1,832,568 755,658 26,574,396
未払税金	鹿児島税務署・鹿児島県・鹿児島市 鹿児島税務署	収益事業に係る法人税納付額 緑地等管理受託事業、フラワーパーク売店運営事業、駐車場等運営事業 消費税納付額	5,653,900 15,680,400
前受収益	農地賃借人 セブンイレブン・ジャパン他 (学)吉井学園	農地中間管理事業に係るR5年度収益 駐車場等運営事業に係るR5年度収益 法人会計に係るR5年度収益	1,650,033 1,239,072 45,000
前受補助金	鹿児島県	畜産公共事業におけるR5年度補助金	12,001,036
預り金	源泉所得税等	公益目的事業会計分 収益事業等会計分 法人会計分	434,533 628,462 1,958,108
前受金	吹上浜海浜公園利用者他	公園等管理運営事業におけるR5年度施設等利用料金他	800,660
賞与引当金	職員に対するもの	R5年6月支給の賞与に備えたもの(公益目的事業会計分) R5年6月支給の賞与に備えたもの(収益事業等会計分) R5年6月支給の賞与に備えたもの(法人会計分)	24,482,272 3,452,452 3,494,649
前受受益者負担金	十島村他	畜産公共事業におけるR5年度受益者負担金	23,617,130
流動負債合計			984,032,143
(固定負債)			
長期未払金	農地賃借人	農地中間管理事業に係る長期未払金	1,865,202
長期前受収益	農地賃借人	農地中間管理事業に係る長期前受収益	500
長期借入金	(公社)全国農地保有合理化協会	農地売買等事業資金	14,266,620
長期預り金	㈱セブンイレブンジャパン他	貸付保証金、預り敷金他	14,676,499
退職給付引当金	職員に対するもの	職員 41名に対する退職金の支払に備えたもの	143,420,263
固定負債合計			174,229,084
負債合計			1,158,261,227
正味財産			3,828,766,176

令和4年度 農地中間管理事業に対する農地中間管理事業評価委員会の評価・意見書

I 事業の啓発・推進について

* 評価の欄には、適当、概ね適当、要改善のいずれかを記載

評価事項	評価の視点	評価	意見等
1 農業者等への啓発	<ul style="list-style-type: none"> 農業者等に事業を広く周知するために効果的な手法で啓発を行っているか。 十分な啓発活動を行っているか。 その結果として、農業者の理解は十分といえるか。 	概ね適当	<ul style="list-style-type: none"> 36件の担い手（事業活用者等）を訪問し、農地利用の実例や農地バンクに対する意見を直接聴取している。この担い手訪問から得た情報を地域での話し合いや農地バンクだより、優良事例集等で情報提供し、他の農業者等に周知するための一助としている。 各種広報誌や優良事例集、チラシなどで事業の周知を行っている。 新型コロナウイルス感染症により、時期によっては農業者等が参加する会議や研修、話し合いの機会が減少したが、参集された会議等には概ね参加し、事業説明や意見交換を積極的に行っている。 事業活用者（所有者・耕作者）は増加傾向にあり、農業者から一定の理解を得られていると思われるが、引き続き担い手からの情報を収集し、ニーズを踏まえた周知活動に取り組んで欲しい。
2 市町村等との連携	<ul style="list-style-type: none"> 市町村と一体的な推進活動がなされているか。 市町村の事業への理解度を高めるための活動が行われているか。 その結果として、市町村の取組が十分に行われていると思われるか。 	適当	<ul style="list-style-type: none"> 41市町村、3農業公社と業務委託を行い、28市町村に38人の市町村推進員及び24市町村に30人の事務補助員を設置し、重点推進地区や人・農地プラン策定地区等の話し合い活動を市町村や関係機関・団体と一体的に支援している。 市町村等業務委託先の新任担当者向けの事業及びシステムの研修会を実施するとともに、事務処理やシステム操作に関するマニュアル等を活用し、事務の円滑化と契約内容の正確性を高めている。 地域別農業委員や農地利用最適化推進員向けの研修会に参加し、情報提供や農地利用の最適化のための活動の必要性、事業活用の意義等を訴えている。引き続き、現場活動を主に担う市町村・農業委員会と連携を強化して欲しい。
3 県及び関係機関・団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> 県と一体的な推進活動がなされているか。 モデル地区等各地域において、県（振興局・支庁）と連携した推進活動がなされているか。 土地改良事業団体連合会や農協連等農政関係機関・団体との連携がなされているか。 	概ね適当	<ul style="list-style-type: none"> 県と一体となった事業担当者会議を実施するとともに、各地域振興局・支庁ごとに開催される地域段階の推進会議に参加し、他地域での優良事例を紹介するなど市町村の推進活動を支援している。 地域段階の推進会議の開催頻度とその内容には地域により濃淡があることから、積極的な活動を行うようさらに県との連携強化に努めて欲しい。 土改連とは年に複数回の業務連携打合せや研修会を実施し、特に基盤整備事業実施予定地区において農地バンクの活用が図られるよう、情報の共有を図っている。また、JA県経済連とは、主に果樹産地に対する支援・情報収集のため、定期的に情報交換を実施し、産地協議会での話し合いに参加する等の連携を図っている。

評価事項	評価の視点	評価	意見等
4 機構の推進体制	機能的な推進体制になっているか。	適当	<ul style="list-style-type: none"> ・事業コーディネーターと地区担当職員が連携し、市町村の人・農地プランの実施地区や重点推進地区の話し合い活動に参加し、活動を支援している。 ・市町村等業務委託先と共有する事業事務マニュアルを活用し、事務処理ミスの防止を図るとともに管理部門の強化に取り組んでいる。 ・基盤法の一部改正に対応するため、システムの変更や業務の見直しを検討している。

II 農地の貸借について

評価事項	評価の視点	評価	意見等
5 貸出農地の募集	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出農地を確保するための対策は十分であるか。 ・借受希望に見合う貸出農地の確保ができているか。 	概ね 適当	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月申請ができる体制を整え、各種研修の機会や事業PRチラシ等により農地の貸借には正式な手続きが必要である旨を訴え続けるなど、貸出農地確保のために新たな農地の出し手への働きかけを行っている。 ・県農村振興課が41市町村及び農業委員会に実施したアンケートによると「やみ小作」が全体のおよそ4割と捉えている市町村が8割を超え、それによりトラブルが発生している事例もあり、課題となっている。「やみ小作」を解消するために県や県農業会議と連名でチラシを作成しその啓発に努めているが、継続した活動が必要である。
6 借受希望者の募集	・借受を希望する者は、多くの応募があったか。	適当	・借受希望者の公募を毎月実施（年12回）し、借受希望者は延べ約2,700名、実際に借受した者は延べ約2,500名であった。
7 貸付実績	・年次目標を達成できたか。	要 改善	<ul style="list-style-type: none"> ・2,100ha（見込み）となり、目標である3,200haの達成には至っていないが、3年連続で貸付実績は2,000haを超える見込みであり、バンクとしての努力は理解できる。 ・「やみ小作」に関するアンケートを基にその推定面積を算出すると集積率は約70%と推定され、やみ小作を解消し、契約させる取組をすすめることが今後の課題であるが、関係機関と連携し国への働きかけ等も必要である。
8 条件整備における事業の活用	・条件整備事業において農地中間管理事業の活用がなされたか。	適当	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村主催の農業農村整備事業計画調整会議等に参加し、条件整備事業地区の情報収集と農地中間管理事業が活用されるよう推進を行っている。 ・機構関連事業については、既存の借受先があれば事業計画に対する意見を聴取するなどの事務処理を実施している。また、既に事業採択されている地区の情報を収集、紹介することで他の地区への事業の波及に努めている。
9 新規参入への対応	・企業等新規参入者に対して、適正な農地の誘導等が実現できたか。	適当	<ul style="list-style-type: none"> ・認定新規就農者では61名・40.6ha、農業参入企業では23社・51.8haの活用実績となった。 ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、県外開催の参入相談会には事業チラシ等の資料を送付するのみであったが、県内開催の就農相談会に参加し、就農希望者へ事業の説明や貸出希望農地情報の紹介を行うなど農地バンク活用の推進を行っている。